

## 健康局 / さとうまちこ 垂水区

**さとう議員** ワクチンについては、アレルギーをお持ちの方など接種したくても接種できない方がいる。今後、ワクチンを接種しない方への風評被害の防止に取り組むべきと考えがどうか。



**健康局** ご指摘の、アレルギーをお持ちの方、あるいは妊娠中の方など、接種の希望があっても接種を受けられない方がいるということも想定される。こうした方々への配慮を欠くような風潮が生まれることは避けなければならない事なので、今後、市民への接種を進める中で、ワクチンを接種しない方への風評被害の防止についても、しっかりと取り組んでいきたい。

## 建設局 / つじやすひろ 東灘区

**つじ議員** 社会インフラを幅広く所管している建設局では、市民や事業者等から不具合等に関する通報対応に加え、職員によるパトロールも行う等、インフラの維持管理にあたって非常に多くの労力がかかっている。働き方改革が求められている中、先進的な技術を用いた維持管理について、何か計画していることはないか。



**建設局** 舗装道路の計画的な維持補修と日常業務の効率化を目的に、車載カメラAIを活用した路面診断の取組みを、令和3年2月より進めている。今後、AI診断の精度やシステムの利便性、コスト等の調査を行いながら、活用方法をさらに検討したい。

## 交通局 / 三木しんじろう 中央区

**三木議員** 新型コロナウイルス感染症拡大により大幅な減収が予想され、経費削減を行う必要がある。高速鉄道事業会計の人員費の削減効果は令和3~7年度の次期経営計画において、5年間で17億円見込んでいるが、西神山手線の「ワンマン化」による取組みについては、どれ位の経費が削減できるのか。また、安全面からホームドアの設置が必要だと思うが、今後の導入スケジュールは。



**交通局** ホームドアの設置、新型車両への置き換え、運転士がホームの状態を確認できる装置の設置を進めている。設置完了後の令和6年度から実施予定であり、削減額は令和7年度で3億円を見込んでいる。

## こども家庭局 / ながさわ淳一 長田区

**ながさわ議員** 「子どもの居場所づくり」について、居場所の立ち上げ支援等に関するコーディネーター機能を強化するとされているが、団体間のマッチングにも対応してもらえるのか。食材確保など開設準備支援はどうなっているか。



**こども家庭局** 地域や関係機関と団体をつなぐことも重要な役割だと考えている。各区まちづくり課とコーディネートを行う各区社会福祉協議会が連携し、地域福祉センターの活用につなげたい。支援については、補助の拡充を考えている。食材確保については、実証実験を通じてコストや課題を検証し、配送やマッチングの仕組みを検討する。

## 都市局 / 高橋としえ 西区

**高橋議員** 狩場プラザリニューアル事業が新型コロナウイルスの影響で不調に終わった。リニューアル検討会や近隣の住民からは早期の事業化が望まれている。各施設単体のリニューアルなど一体化の事業を見直してはどうか。



**都市局** 地域の方々や民間事業者の対話を通じて、今後の一層のにぎわいや利便性向上を目指してきた。各施設単体のリニューアルではなく、中心となる商業店舗を示した上で、リニューアル全体のコンセプトを明確にしながら、各施設の全体の配置や施設間の連携も見据えながら、現時点では一部の事業を切り離すのではなく、一体的に事業に取り組んでいく。

## 教育委員会 / 黒田武志 西区

**黒田議員** 広域な神戸市全域で「温かくて美味しい中学校給食の全員喫食」を検討するにあたっては「民間事業者による提供方式」「給食センター方式」「親子方式」の三方式を適切に組み合わせることが重要である。スピード感を持ちながらも、学校施設の状況や地域特性などを十分に踏まえながら丁寧に進めていく必要があると考えるがどうか。



**教育委員会** 費用対効果や効率性などの観点から幅広く検討していきたい。一つの方式にこだわらず、学校施設の状況や地域特性なども踏まえた上で、複数の方式を組み合わせるという事も含めて柔軟に検討していきたい。

## 経済観光局 / 住本かずのり 須磨区

**住本議員** 昨今のコロナ禍の状況を踏まえ、対面の展示会が難しいなか、試行的に実施しているオンライン商談会について、ケミカルシューズ等の地場産業の専門分野に絞った商談会も、展開できるのではないかと考えるがどうか。



**経済観光局** 今年度初めて試行的にオンライン商談会を実施した。主に機械金属加工業を対象にしていたが、すでに一部ケミカルシューズ関係の企業にも参加いただいている。

**住本議員** 非対面式での仮想空間での3DCGでの商談会はできないのか。本市では「神戸のつどい」での実績があり、アバターを使えばこれからの時代は各バイヤーが、各出展ブースで直接商談取り引きできると考える。

## 水道局 / 山本のりかず 北区

**山本議員** 安全で安心な水を継続供給していくには、配水管の更新や耐震化は不可欠だが、入札不調が生じている。現状どうなっているか。



**水道局** 配水管取替工事の入札不調率は、平成30年度が39.6%、令和元年度で52.8%と非常に高く推移していたが、今年度の1月末では27.3%と改善傾向である。技術者不足や、資機材の仮置き場の用地不足などに対応しながら、水道工事の入札不調を可能な限り減らす努力をしていく。

**山本議員** 新規の地元工事参入事業者を育成・増やすことと、計画的な配水管取替工事に、しっかりと取り組むよう要望する。

## 選挙管理委員会 / 川口まさる 灘区

**川口議員** 神戸市長選挙において記号式投票を導入することだが、電子投票を用いれば、記号式投票以上に疑問票の解消や開票時間短縮などの効果が見込まれるので、将来的には電子投票を導入すべきだと思うがどうか。



**選挙管理委員会** 電子投票についても記号式投票と同様のメリットがあるということは承知をしている。国の動向、そして他都市の導入状況などをよく注視していきたいと考えている。

**川口議員** 現在も総務省において電子投票について検討がなされているものと思うが、神戸市においても国の動きを注視しつつ、研究を重ねてほしい。

# 維新の 令和3年度予算特別委員会 外海開三議員による総括質疑

**外海議員** 市長は昨年9月に「外郭団体について、今一度メスを入れ廃止、縮小や統合も含めた抜本的な見直しが必要であり、出来るだけ早期に方向性を見出してほしい」と答弁されているが、外郭団体改革の方向性にかかる現在の検討状況を伺う。

**久元市長** 目的が曖昧になっている「OMこうべ」は、以前に既存の外郭団体を統合した結果、必ずしもそれぞれの事業の関連が不明なものも「OMこうべ」という一つの組織体を取り扱っており、「神戸すまいまちづくり公社」との役割分担も必ずしも明確なものとなっていない。この両者の事業再編も検討しており早期に方向性を示したい。今後、神戸市外郭団体・民間の役割を明確化しつつ、団体の設立目的や事業内容が時代や環境の変化に対応しているのか、経営状況や神戸市の方向性等を踏

まえ時代に適合した外郭団体の活用、新設・廃止など団体のあり方を検討していきたい。

**外海議員** 外郭団体改革については、改革の方向性や明確な改革方針を市長が内外に示し、強力なリーダーシップのもと、曖昧さを排除して徹底的に進めていく必要があると考えるが、来年度の具体的な進め方について見解を伺う。

**久元市長** 昨年9月に策定した「行財政改革方針2025」において、外郭団体の役割の継続的な見直し・経営体質改善を重点項目として位置付けている。これを具現化させるために、令和3年度においてはコンプライアンス徹底、ガバナンス体制強化、役員の監視監督機能強化、団体の経営能力の向上に向けた総合的な取り組みを行う。具体策を明示した上で、横串をしっかり刺した外郭団体改革を強力に取り組んでいきたいと考える。

